

ひまわり

9月1日（火）、2学期の始業式を行いました。生徒たちが新たな気持ちでスタートを切り、学習や行事などさまざまな活動に取り組む姿を楽しみにしています。今学期も教職員一同、生徒たちの成長をしっかりと支えてまいりますので、保護者・地域の皆様には引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

2学期始業式 校長式辞

みなさん、おはようございます。今日から2学期が始まります。夏休みを終えて、こうしてみなさんが元気に学校に戻ってきてくれたことを、とてもうれしく思います。

今日は、7月28日に熊本県で発生した地震について、少しお話をしたいと思います。この地震では、最大震度7を観測し、多くの方が被害に遭われました。今回の地震によって亡くなられた方々に、心より哀悼の意を表します。また、被災された皆様、今も避難生活を続けている皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く、平穏な生活を取り戻されることを心から願っています。

今回、被災された方々も、地震が起こるまでは、私たちと同じように、毎日の生活を送っていました。ところが、大きな地震によって、その日常が一瞬にして変わってしまいました。「家が壊れる。」「電気や水が使えなくなる。」「これまでの生活を続けることができなくなり、避難しなければならなくなる。」昨日まで当たり前だったことが、当たり前ではなくなってしまったのです。

私たちは、普段、「当たり前」ということを、十分に意識できているとは言えません。毎日、家族と過ごし、友達と話し、学校に通い、勉強したり、部活動をしたりする。そんな何気ない日常が、ずっと続いていくように思っています。

しかし、それは決して当り前のことではないのです。今日、みなさんが元気に学校に来ることができたことも、友達と笑い合えることも、家に帰れば家族がいることも、実はとても大切なことなのです。今回の地震は、私たちが普段何気なく過ごしている毎日が、決して当り前のものではないことを、改めて考えるきっかけになったのではないのでしょうか。

そして、もう一つ、考えてほしいことがあります。災害が起きたとき、人を支えるのは、建物や物だけではありません。「大丈夫?」「何かできることはない?」「一緒にいるよ。」そんな、人の温かい言葉や行動が、人を支える大きな力になります。だから、災害への備えというのは、非常食や水を準備したり、避難場所を確認したりすることだけではありません。

普段から、人と人とのつながりを大切にしておくことも、大切な備えなのです。「家族を大切にする。」「友達を大切にする。」「困っている人がいたら声をかける。」「誰かが頑張っていたら応援する。」そして、「してもらったことには『ありがとう』と伝える。」

こうした毎日の小さな行動が、人と人とのつながりをつくっていきます。そして、そのつながりがあるからこそ、困ったときに、誰かが自分を支えてくれるのだと思います。

今日から始まる2学期。みなさんには、今ある毎日を「当たり前」と思わず、一日一日を大切にしてほしいと思います。そして、周りの人への感謝を忘れず、困っている人がいたら手を差し伸べ、頑張っている人がいたら応援できる人になってください。

人は、一人だけでは生きていくことはできません。誰かに支えてもらい、そして自分も誰かを支える。そんな人と人とのつながりの中で、私たちは成長していくのだと思います。

今ある毎日に感謝すること。そして、誰かにとっての「支えになれる人」になること。この二つを、2学期のみなさんに大切にしてほしいと思います。それでは、みなさんにとって実り多い2学期になることを願い、始業式の話とします。

生徒指導担当の西明先生からのお話です。(AIで漫画風にしました)

応援される人になろう

